

# 京都教区時報

## 小教区の頁 一 彦根教会

第63号

発行所  
京都市中京区河原町三条  
カトリック京都司教区  
広報室(Tel 211-3768)  
編集責任者 村上透磨  
編集部 教理センター  
田中司教認可

布教――今私の私に出来ること

◎「この世の中に神様なんて」と考えがちな友に、一人ひとりが神の愛に包まれ、私達の人生はけつして無意味なものではないんだと。う私の信仰を語りかけ、あたたかい友人関係を一つづつ築きあげていくこと。

◎具体的には京都北山のどこかに閑寂の地を得て、信者達の手造りの専修道場(山小屋風)を自らの汗で建て京都教区全体のものとして焚火を囲んで祈り、沈思、語り合い、分かち合いの場を持つことを提案したい。

大塚喜直(神学生)  
大島重良(西陣)

◎「一、三十代の主婦、各種講座に殺倒」の夕刊朝日の記事に、この若い母親達が心から集える所が神の前であればと思う。「心の灯」を配布しながらマスクヨミの力をかりてキリストの教えが活字と映像の立体化を計つてはと思う。

西沢文子(奈良)

◎教会の台所で、個人の家庭でカトリックパン教室を開きましょう。醸酵を待つ間に対話が、聖書を読むことも出来ます。少量のパン種は粉をみごとなパンに変えて、心なごやかに感謝の祈りと共に皆でいただきましょう。

武政珠江(大津)

◎僕が思う布教とはキリストを理解しかねている人に、理解するよう手助けすることだと。う活動の中に必ずキリストがあり、おのずとキリストを見出し伝える活動となると信じる。

村田裕人(宇治)

松崎エミ子(高野)

◎「うまくいかないその壁は、何とかしなくては」と案じている者の心の内にある事が多い。講演、映画、研修各会をせつせと催し一般の人が喜んで来、場所、宗教が身近に思えるようになる事が大切ではないか、余り身構えてはかえって人は反発したくなるもの。

中山敦子(一未信者)  
大島重良(西陣)

◎宗教不感症の同胞に、人間らしく生きていこうにおいて、宗教無視は、あなたの願わぬ命取りであること、宗教は大切だと感じて下さるのを期待し、私は、文書布教「ゆさぶり伝道」をしています。

辻利喜男(綾部)

◎教えを説く等とは、とても出来はしないが小さくとも御心にそつた行動は十分宣教であると信じている。例えば、奉仕活動、又は友人、見知らぬ人への思いやり等「キリスト教信者はこういう者か」と言われ、惹きつけることを小さな宣教としていたい。

井手泰子(桂)

◎福音化とか、布教とかタイトルをつけても実際に自分自身を折りか、何かの活動に今直ぐ入れていかなければ福音化のフの字も始まらない。信者各自が自分の立場で、聖靈のすすめる方法で今この瞬間から実行しよう。

京都働く人の家 一青年

- |   |                                |
|---|--------------------------------|
| ▽九月十五日(土) 京都府南部カトリック壮年信徒連絡協議会於・河原町教会          | ▽九月十六日(日) 草津教会堅信式、長浜理事会於・東京    |
| ▽九月二十一日(日) 園部聖カタリナ学園校舎竣工式                     | ▽九月二十三日(日) 高野教会堅信式             |
| ▽九月二十四日(月) 結婚互助会                              | ▽九月二十日(日) 京都教区信徒協議会準備会         |
| ▽十月一日(火) 京都府南部婦人連合会                           | ▽十月二十一日(日) アジア諸宗教司教研修会於・バンコック  |
| ▽十月二十二日(月) 一月六日(日) 六甲教会(諸宗教)祭默想会、京都教区内男女管区長会議 | ▽十月二十八日(日) 國部教会聖体行列            |
| ▽十月二十九日(日) 邦人司祭会                              | ▽十一月二十九日(日) 國部教会聖体行列           |
| ▽十一月三日(土) 園部聖家族幼稚園二十周年記念日                     | ▽十一月六日(火) 一八日(日) 日本司教協議会総会於・東京 |
| ▽十一月五日(日) 京都教区司祭評議会                           | ▽十一月十一日(日) 田辺教会二十五周年記念日        |

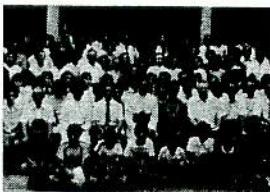


## この土の上に

種がまかれ、家が建つてから、30年、25年の祝いをされた教会を紹介し、共に感謝の心を捧げたい。

## 報恩寺教会、創立30周年

8月15日、田中司教司式による記念ミサと堅信式が、各教会代表400名参會のもと、盛大に行われた。



集団改宗の村「サガムラ」として喧伝されてから三十年。その間、町村合併によつて佐賀村の名は地図の上から消え、佐賀カトリック教会は、報恩寺カトリック教会と改称され現在に至つてゐる。

三十年前、佐賀の地では、カトリックの何たるかを知らぬ人が大部分であり、当時は聖堂は勿論、伝道所とてもない处であった。それが、聖堂、司祭館、伝道館と相次いで建築され、一応の施設の整つた現在の報恩寺教会を思う時、歴代の主任神父様や、直接当地方の布教を担当されているレデンブール会の神父様方の御協力に感謝しなければならない。

しかし、この間には多くの屈折もあり平和であるべき農村に目に見えぬ対立があつて、時の指導的立場にある人々の心を痛めたことも多かつた。その「サガムラ」のカトリック教会も定着し、創立三十周年を迎えた。

(会長 野田吉夫)

## 八幡教会、献堂25周年

7月22日、八幡教会では献堂25周年と、

献堂以来初めての堅信式が、田中司教司式で行われ、式後、司教、主任司祭ヒューズ師を囲んで盛大な祝賀パーティが催された。福音の種はスタイルンバック師によつてまかれ、巡回教会とは云え、聖職者(越知師等)を出してゐる事をほこりとしている。たゞ小数とは云え、家族的な雰囲気のもとに、聖堂内外の整備、沿革史の編集等にも手をつけユーモアあふれ熱意あるヒューズ師の司牧のもとに、すばらしい共同体として成長しつゝあると確信している。

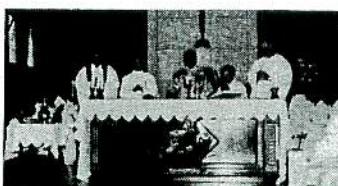
司教は激変する世代にあつて、信徒が世

## 西陣教会、献堂30周年

8月19日、創立73周年の歴史をもつ西陣教会では、田中、富沢両司教司式のもとに、献堂記念を盛大に行つた。遠方からの参加者も多く、聖堂は久し振りに満席となり、美しい聖歌合唱が流れ、記念ミサにふさわしいムードの中に進められた。記念祝賀パーティには各教会のミサを終え駆け付けて下さった司祭方と、懐かしい顔で一杯となり、歴史の深さを感じさせられた。

まず、チエロ演奏「自然に於ける神の栄光」で幕を開け、両司教の祝辞、歴代司祭の想い出のスピーチを聞き、三十年の月日が昨日の事の様に感じられた。又ホールに展示された写真等を眺め、自

## 子羊会合宿



分達が信仰を通じて再び集い、互いに語り合う喜びを心ゆきまで語り合う事が出来た。終りに、「神共にいまして」を合唱し、司教の祝福をもつて幕を閉じた。

(報告 会長中川)

## とわの安らぎを

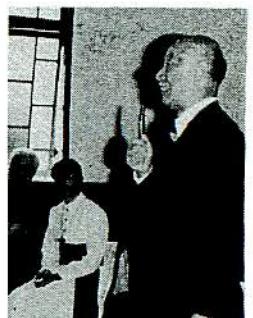
シスター・マチルダ・ビータース  
(ウイチタヨゼフ会員) 71才

同姉はアメリカ・カンサス・ウイチタに生まれ、一九五〇年來日、京都に於て同修道会を設立し初代院長。

一九五八年、熊本隅府に聖母幼稚園を設立、初代院長。

後、京都聖ヨゼフ整肢園の理事となり、一九七一年帰米。

一九七九年八月十日、心臓マヒのため



祝詞をのべる  
石清水八幡宮 田中宮司

今年のテーマは「私たちの生き甲斐について」であつた。

身障者、特に重度身障者の中には、社会の生産活動に参加出来ない者が多く、彼らはともすれば生きる目的を見失い勝ちであるが、生命が与えられ、生かされているからには、何か果すべき役割がある筈である、ということから話しあいに入り、参加者ひとり一人意見を出した。生き甲斐、喜び・大切なのはそれらを何に求め感じるかであろう。自分に出来ることを努力する、祈り、苦しみを主の十字架に合わせて捧げる。明るい笑顔、感動する心、言葉等で主を証しする努力。こうした努力が私たちの生き甲斐につながることを確認し、さらに努力することを約束して合宿を終えた。思えば車椅子の人十人を含む身障者の合宿は、友の会の方々はじめ多くの方の絶大な協力の賜物であつて、感謝している。

## 今年度夏期教会学校行事一覧表

教 会	日 時	場 所	テ ー マ ・ 内 容	参加対象	参加人員
教 区	7/24-26	唐崎メリノールハウス	ほんとうの私—自分が見ている私と 人が見ている私—	中	35
	8/22-24	唐崎メリノールハウス	自己をみつめる—今我々は何をすべきか—	高	47
河 原 町	8/2-4	北白川教会	典礼研究、平日のミサ—福音について—	中・高	16
	8/7-10	笠岡青年の家	典礼研究、ミサについて—奉獻—	小・中・高	51
桂	7/28-29	宇治青少年くつわ池	共同体作り	小	30
北 白 川	8/8-11	ハチ伏高原 (九条・小山・高野合同)	友だちを作ろう	小	90
衣 笠	8/19-21	和知青少年の家	神さまからの贈物	小	27
小 山	7/24-25	比良キャンプ場	共同生活	幼一中	50
西 院	7/26-28	南山城少年自然の家	神さまありがとうございます	小	20
	7/31-8/2	網野	ミサについて	中・高	13
西 隊	8/1	教会	「ゆるし」	小	13
伏 見	7/27-29	唐崎メリノールハウス	自然の中で神様と出合う	小	55
	8/13-15	教会	宇治・伏見合宿	中・高	15
桃 山	7/25-28	教会	夏期学校及キャンプ—聖書とたとえ話—	小	45
山 科	8/29-30	教会	みんな楽しく、仲良く	小	28
青 谷	8/4-5	教会	日曜学校合宿	小	30
宇 治	8/16-19	教会	夏期学校	小	16
園 部	8/13-14	教会	夏期学校—神さまはそこにいる—	小・中1・2	30
田 辺	7/23-26	教会	夏期学校—友だちを誘いなさい—	小	125
	8/23-24	西の宮トラピスト	默想聖書研修	中	10
精 華	8/13-15	教会	共同体としての信仰生活の分かち合い	小	17
長 岡	9/14-15	幼稚園	親睦を深め楽しく遊ばせる	幼一高	30
網 野	8/21-22	教会 (岩滝、加悦、宮津合同)	体験を通して、何かをみつめよう	中	22
綾 部	7/29-31	由良キャンプ場 (福知山、報恩寺合同)	親睦をかねての練成会	小一中	70
加 悅	8/5-7	天台折りの家 (宮津、岩滝、大宮、久美浜方面合同)	キリスト者として生き生き生きよう	高	24
西 舞 鶴	7/24-26	教会 (中舞鶴合同)	夏期学校—行くべき道を教えよ—	幼一小	92
宮 津	8/9-10	由良キャンプ場	自立心、他人を思いやる心を養う	小	14
滋 賀 県	8/10-12	唐崎メリノールハウス	この時キリストならどうしたか	小5-高3	60
長 浜	8/17-19	奥伊吹キャンプ場	自然の中で兄弟であることを自覚させる	幼一小	27
草 津	7/28-29	教会	友だちっていいな	幼一小4	45
大 津	7/23-27	教会	夏期学校	小	140
御 所	7/29-31	網野教会	遊びながら勉強	小	20
奈 良	7/28-30	東吉野キャンプ場	私たち皆兄弟	小1-3	30
	7/31-8/3	網野教会 (富雄と合同)	団体生活	小4-中	50
	7/23-24	幼稚園	兄弟	小1・2	75
	7/26-28	網野教会	兄弟	小3-6	45
登 美 が 丘	8/1-4	長野県白馬村	聖書は私についてあかしをするものである	小3-6	46
大 和 郡 山	8/6-7	御所、虹の家	子どもたち一つになるように	小	11
大 和 高 田	8/3-4	御所教会	自主的に出来るだけ何でもやってみよう	小一中	50
大 和 八 木	7/24-25	奈良県立野外活動センター	「神さまありがとうございます」……自然と共に	小	46
伊 势	8/5	池の浦海水浴場	親睦をかねての海水浴	小	18
桑 名	8/1	湯の山蒼滝大石公園	分かちあい	小	22
鈴 鹿	7/7-8	教会	私たちは皆兄弟である	小	45
津	8/24-26	唐崎メリノールハウス	自然とともに	小	36
	8/7-10	〃 〃	高校生研修講座	中3-高3	12
久 居	8/3-5	千鳥ヶ浜相差キャンプ場	漁についての聖書勉強	小一中	25
上 野	8/4-5	教会	兄弟愛	小	10
名 張	8/17	鳥羽池の浦	布教と親睦	小	30
四 日 市	7/26-28	湯の山静山閣	黙想会	小4-中3	14
〃	8/2-4	おおいづキャンプ場	教会学校キャンプ	小・中	38

その他いろいろ報告していただきましたが、教会学校行事に限らせていただきました。

## 司教の足どり

七月～九月



- 7月
- 15 ⑩彦根教会ミサ
  - 16 教区付邦人司祭月例会、神学生養成担当司祭の会
  - 17 教理センター理事会
  - 19 聖母の家学園の理事会、評議員会
  - 20 ⑪河原町教会ミサ、講演会「諸宗教の対話」
  - 21 ⑫八幡教会25周年・堅信ミサ
  - 22 ⑬女子カルメル会代表と面談
  - 23 ⑭大本代表来訪
  - 24 第三回カトキ学生全国セミナー（京都・洛星）
  - 25 ⑮故徳久清次師追悼ミサ（河原町）
  - 26 ⑯邦人司祭代表者会、日本宗教者会（京都タワーホテル）
  - 27 ⑰奈良教会、幼稚園責任者來訪
  - 28 ⑱ヴィアトール会総長と面談
  - 29 ⑲松明行列・原爆追悼ミサ（長崎）
  - 30 ⑳社福法人「カリタス会」理事会
  - 31 ㉑長浜教会ミサ
  - 32 ㉒日本宗教青年長崎会議
  - 33 ㉓エイルワード師と面談
  - 34 ㉔報恩寺教会30周年・堅信ミサ
  - 35 ㉕ラッキー管区長と面談
  - 36 ㉖キーン師と面談
  - 37 ㉗西陣教会30周年・堅信ミサ
  - 38 ㉘富澤司教臨席
  - 39 ㉙社福法人「カリタス会」会計説明
  - 40 ㉚太陽の園起工式（園部）

- 8月
- 1 幼きイエズス会管区長と面談
  - 2 ㉛河原町教会ミサ、講演会「諸宗教の対話」
  - 3 ㉜トライピスト修道院訪問（札幌）
  - 4 ㉝宣教司教委員会（札幌）
  - 5 ㉞唐崎教会堅信ミサ
  - 6 ㉟司祭カリスマティック集会（八木）
  - 7 ㉟南社婦連の会
  - 8 ㉟トライピスト修道院訪問（湯川）
  - 9 ㉟国际児童年記念講演シリーズ（秋）
  - 10 ㉟第六回 日時・10月9日(火) 10時～12時 テーマ „叱ることの問題“
  - 11 ㉟講師 深堀英二師 会場 京都カトリック会館6階ホール 会費 300円
  - 12 ㉟※匿名による質問相談があります。
- 9月
- 1 ㉟幼稚イエズス会管区長と面談
  - 2 ㉟河原町教会ミサ、講演会「諸宗教の対話」
  - 3 ㉟倫理準備会（知恩院）
  - 4 ㉟グアダルペ会管区長と面談
  - 5 ㉟精華教会ミサ、「神の園」訪問
  - 6 ㉟司祭有志の集い（西舞鶴）
  - 7 ㉟聖ライムンドの祝日、世界宗教者
  - 8 ㉟オルガン演奏会
  - 9 ㉟講師 松本三朗師（教理センター） 会場 京都カトリック会館6階ホール 入場 無料
  - 10 ㉟曲目 バッハ（フーガ集） 演奏者 マリー・クレール・アラン 会場 河原町カトリック教会 入場料 前売券三千円・当日四千円
  - 11 ㉟日時 10月19日(金) 6時30分 テーマ 未定 演奏者 「日本の父への著者」 会場 河原町カトリック教会
  - 12 ㉟日時 10月9日(火) 2時～4時 テーマ 未定 演奏者 グース・フォス師（イエズス会） 会場 河原町カトリック教会
  - 13 ㉟日時 10月9日(火) 2時～4時 テーマ 未定 演奏者 カワイ電子オルガン 会場 河原町カトリック教会

- 10月
- 1 ㉟聖書週間プログラム
  - 2 ㉟日時・11月23日 1時30分～4時 テーマ „聖書とその背景“ とスライド
- 11月
- 1 ㉟惠まれない子供達のため歩こう
  - 2 ㉟今年は国際児童年。恵まれない子供達のために何か役立つ事が出来ないだろうか。
  - 3 ㉟十一月三日（土）河原町教会に集まり約二十キロの道を歩いてみませんか。
  - 4 ㉟ウォーカーは競争ではありません。又単なる散歩でもありません。聖テレジアは修院の庭を病をおして、倒れつゝある宣教師のために歩いていました。飢え渴きのため倒れつゝある子供達を何かの形で支える事は出来ないものでしょうか。
  - 5 ㉟そのため一緒に歩きましょう。健康と幸せを感じつつ、詳しい事は、パンフレットでお知らせします。それを見て是非参加して下さい。この行事は、精神的支えとなる事は勿論さ、やかな、経済的援助にもなる事でしょう。

## 教会学校リーダー研修会

日時・11月18日 1時30分～4時30分  
テーマ „教会のヴィジョンと教会学校“

講師 マケンナ師（衣笠）  
会場 京都カトリック信愛河原町幼稚園  
会費 500円

あなたの良き隣人として

カトリック葬儀・貨物一式(仏式可)

**聖ヨゼフ葬典社**

パウロ 杉下 安雄

京都市右京区西院寿町23  
電話 (075)312-7829

祝花、供花、式場装飾



オリジナル フラワーデザイン

株式会社 桂花園

京都市西京区川島玉頭町41  
TEL (075)381-5389・391-0301重厚なパイプオルガンの調べ——  
美しい旋律を奏でるチャーチモデル

カワイ電子オルガン

**C-502****河合楽器製作所**

京滋販売部

京都市中京区烏丸通二条上ル

☎ 075-231-8405

## 教会のイメージとヴィジョン

この問題を真剣に探求し作成への努力を互いに感謝し合い、又一人一人が、自分の問題として何かの意味で參與する事を期待しながら、いくつかの質問を發してみたいと思う。

まず、何か流行語の様に誰でもこの言葉を使うのだが、一体何を意味するのか、はつきりさせるべきではないか、答えは辞書をひいて出てくる程、単純なものではない様である。

それをはつきりさせた上で、或いはせることで、仮に例えればヴィジョンを最終目標又は展望と云うあたりで意味の同意がなされても、その内容に立ちたると夫々意見が異つてくる。キリスト者の行(生)くべき最終方向と云えば、それは聖書をさがせば出てくるのではなくいか。だからそこでまず聖書をひもといて、答えを見出そうと云う努力がなされているか。と云う事が反省の材料になると思う。

それは案外簡単に答えが出てくる筈だし、どうも今問題になつてるのは、その辺の大目標ではなくて、もう少し具体的なところが問題になつてゐる。つまりその絶対的な大前提に基いてそれを如何に現代において具體化するかと云う点がヴィジョン作りの問題となつてゐるのでないかと思う。でも具體化と云う事で考しなければならない事は、具體化は具体的すぎると意味がなくなってしまう。

### ヴィジョン作り

愚か者の心配なのだろうか。

教会のイメージとは何か、これも教会がどうあるべきかと云う事と、自分はどうあつてほしいかと云う事とは区別しなければならない。どうもこうあつてほしいと云う事ばかりが先行しているのではないか。教会の創立は神の恵によるものであり、創立者である神のお考えを聞いてみなければならない。何か駄々々子の様に、こうあつてほしい事ばかり要求しているのではないか。

教会とはと云う答えを受けたければ、現教皇が云われる様にもう一度真剣に教會憲章を研究してみるべきではないか。

現代世界に対する適応と云う事なら、現代世界憲章を研究し、(教会の本質を伝えるために変えるべき部分と変えてはならぬ部分を考慮して) その適応の原理と

方向性と云つたものを探求すべきではないか。更にパウロ六世の福音宣教もヒントを与えてくれるのではないか。

更に教会のヴィジョン作りをしながら、本当に真剣に折つているだろうか。

時は日々刻々と変り、状況も変るその変化する中でいつも「具休化出来る原理」つまりこゝまで示しておけば、今、ここで、キリストの心に従つてよりふさわしく行動出来るところまで導いてくれる様な指針とか力と云う事なら意味があろう。

ヴィジョン作りを云う時、こんな非常に単純な事が忘れられがちと案ずるのは、

梵天がいつもの電車に足のわるい

人がのつてゐる。その人は、電車にのる

うあつてほしいかと云う事とは区別し

なればならない。どうもこうあつてほしいと云う事ばかりが先行しているよ

うだ。とくに満員電車の時、その人は、

ひつしでおりようとしているのに、みんなはしらん顔でいる。ぼくもひつし

にとおり道をあけようとするが、おし

たらおしかえされる。

それと、よく、ちえのおくれた人が

のつてゐるのにであう。みんなは、そ

の人からにげようとするが、ぼくは「か

わいそうだなあ」と思う。

ぼくは、こういう人が世界にたくさ

んいることをしつてゐる。

ぼくの願いことは、こういう人がみんなといつしょにいろいろなことができ、なかなかはずれなどしないような世界にしてほしいと思う。

聖母学院小学校四年 岡本千浪

私は、自分のねがいだけかなえてほし

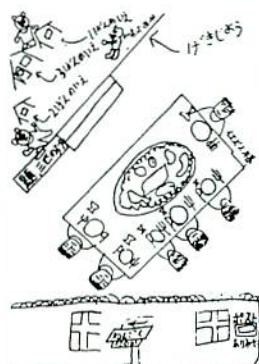
いなんて、とても、まわりの人がかわいい

そうです。まだまだまづしい人がいるの

をしつて、あそびくらしている人がい

## 神さまへのおねがい

国際児童年記念特集 (4)



聖母学院小学校六年 松浦宏樹

ます。フィリピンの人たち、アフリカの人たち、そんなまことにいるのに、日本は、あそびくらしている人がおおいです。でもそのまことにいる人が、マザーテレサという人もがんばっています。かみさま、どうかそのマザーテレサが、おしごとをさいごまでやりとげられますように。

かみさま、天国つてどんなところですか? シスターは、死んだら一回かみさまに

あるといつているけど、一回死んだのかな? まさか、二本の足もついていますけど、どうしてそんなことがわかるのですか? ようちえんのシスターは、じごくの汽車と、天国の汽車があるつてたよ。なぜそんなこといわれるのかな?

私はふしぎです。

天国、じごくは、そうぞうできません。

天国は、ちじょうからみられないのかな? みられたらいな。だって、おじいちゃんが天国にいつているのがみたいもん。マリアさまも、ヨゼフさまもみたいもん。

### 国際児童年

西陣教会日曜学校 今仁 真紀

かみさま、木や、くさは、どうして、あるのですか。

だいこんのは、にんじんのは、はどうしてあるのですか。おしえてください。

木には、くわがた虫やかぶと虫がいま

す。どうして、木には、みつがついているのですか。どうして、くさは、かれでしまふんですか。木のはもかれののですか。おしえてください。

若い神父としてアメリカから日本に来て数ヶ月後の思い出ですがある日タバコを買つた時に中々面白いマッチを貰いました。ハコの表に貼つてあつたレッテルに長いヒゲの顔、後光がさしているキセルをすつている聖者見たいなおじいさんの絵がありました。そして絵の横に「人はパンだけで生きるものではない」と言う聖書の言葉が書いてありました。なるほどと思つて人間の生活にはパンのようなものばかりでなくタバコのようなものも必要です。しかしタバコの宣伝のためキリストのみ言葉をつかつた人はそれを悪用して後半を無視しました。正しい引用の続きを「神の口から出る一つ一つ

説話

13

## 人はパンだけで

## 生きるものでない

の言葉で生きる」マタイ四章です。つまり人間の生活に必要なものはただ物質的なものだけではなく神さまからの靈的の栄養も大事だと言うことです。

私達の住んでる消費の社会は靈的なもの精神的なものを評価しないでせいざに自己満足する世界です。多くの人の生きがいは、高級な住宅、車、ステレオ、パソコンなどの様に見えます。

国際児童年に当つて、私達キリスト信者は自分の生活にイエズス様のみ言葉「人はパンだけで生きるのではない」を、人となり、次の世代の子供達に、神のみ国のはららしい夢をもたらしましょう。

ツーシェット神父 彦根教会主任

小教区の頁  
彦根教会

百年前に教会が・・・

さて、牛の歩みの如くではあるが、ゆっくり一步一歩確かな歩みをつゞけています。希望と信仰と忍耐と犠牲を捧げながら。

## 現実の問題としては・・・

(信徒使徒職の意識高揚)

信者相互が意識を高め合いながら、より多くの人々が共通の理解に達するため、たゆまぬ対話と研究と祈りの大切なことを感じる昨今です。

(信徒の福音宣教)

初めてメリノール宣教会ウイントロ神父(初代主任)来彦根。借家で初ミサが挙げられて以来、信徒は延べ五百名を越え、司祭、修道女の召命が出ている。主任司祭は十代目、助任司祭は十八代で終り、シスターは延べ十四名が活躍、伝道者は九代、十四代、十七代が現役中という彦根教会は彦根城の外堀りに面して一際線の美しい大木の繁る所に息づいています。遅まきながらも、こゝ数年来、信徒使徒職の波が打ちよせ、その意識の高揚には目覚しいものが多くあります。明日の教会に向つて考えるとき、大きな希望を抱くのであるが、現実とのギャップにジレンマを感じつも、逆に戻ることも、歩みを止めることも赦されません。確固として現実を見つめ、把握し、大地に根

人が今日ほど強く望まれている時はないでしょう。

(会則の改革と刷新)

記憶の中にある過去の会則、今は慣例となつて来ている中の良い点を生かし、今日的なことと将来的、発展的なものとを見通し、盛り込むべく、四、五回開いた会則起草委員会でまとまつた事柄を今後共慎重審議していくことにしています。

(信者連絡網の活用)

万一千、緊急時の教会と信者間の意志疏通を計るため、又、各地区の世話を仲介して信徒同志の電話や寄り合いを通じ毎回、多少の顔ぶれは変るが同じメンバーになると云う願いと努力が始められています。(全信徒の月例会への意欲的参加促進)

いと云う願いと努力が始められています。(信徒連絡網の活用)

万一千、緊急時の教会と信者間の意志疏通を計るため、又、各地区の世話を仲介して信徒同志の電話や寄り合いを通じ毎回、多少の顔ぶれは変るが同じメンバーになると云う願いと努力が始められています。(全信徒の月例会への意欲的参加促進)

いと云う願いと努力が始められています。(信徒連絡網の活用)

万一千、緊急時の教会と信者間の意志疏通を計るため、又、各地区の世話を仲介して信徒同志の電話や寄り合いを通じ毎回、多少の顔ぶれは変るが同じメンバーになると云う願いと努力が始められています。(全信徒の月例会への意欲的参加促進)

いと云う願いと努力が始められています。(信徒連絡網の活用)

万一千、緊急時の教会と信者間の意志疏通を計るため、又、各地区の世話を仲介して信徒同志の電話や寄り合いを通じ毎回、多少の顔ぶれは変るが同じメンバー

になると云う願いと努力が始められています。(信徒連絡網の活用)

万一千、緊急時の教会と信者間の意志疏通を計るため、又、各地区の世話を仲介して信徒同志の電話や寄り合いを通じ毎回、多少の顔ぶれは変るが同じメンバー

# フィリッピン研修リポ (下)

田中健一司教

エキスボージャー・プログラムと云うのは現地担当者の配慮で貸切られたトライシクル(三輪車)に二人づつ案内者と一緒に乗って、こちらの漁村に、あちらの農村へと、カンカン照りのすごいガタガタ、時にはジャブジャブ道を突進して集落を訪れ、人々に接する事だった。兵隊ゴッコのような道程、オートバイはみなヤマハ製。のどかな田園の水牛、椰子の木蔭で一服と云つた余裕は無い。河あれど橋は無く、必要時にはカヌーのような小舟に乗つて流れを渡る。

このようにして三日間、附近的集落を巡り、我々4人司教は村の代表者老幼男女と親しく話し合つた。村人の現状を観察し、問題点に耳を傾け、その原因は何か、希望期待することは何か、どのような対策を取り組んでいるか、地元教会はどう協力、指導してくれているか……。

対話は熱心に交わされた。時には話しの途中に椰子の実と汁を庭からとつて来てご馳走してくれた。或漁師は沖から帰つて来て何も捕れなかつたのは日本の船団が大規模な漁法で捕獲してしまうからだと歎いていた。村人達の生活は貧しい。電灯も水もなく家も実に粗末である。三千キロ南の田舎にはこのような現実がある。フィリッピンは貧富の差のはげしい国だと聞いていた。しかしこの問題は簡単

では無い。政治、経済、社会文化、宗教ともからみ、彼等だけの問題では無く、人類みんなの問題でもある。

でも物質的には発展途上のこの教区共同体として、コミュニケーションのむつかしい地域にあって、教区がラジオ放送局(終日プログラム)をもちニュースは勿論教養と意識の啓蒙、信仰昇揚と連帶に効果をあげるべく努力している姿には感心した。各家庭には電気はなくともトルンジスラジオはある。

又、各集落に派遣されていると云おうか、信徒リーダーの役割は大きく見えた。話し合い、信仰教育、みことばの祭儀を通して「貧しいけれども、決して不幸ではない。なぜなら主イエズスは、共に居て下さるから」と信仰において大きく成長しているようにも見え、無言のうちに種種教えられた。

前半と後半の中継ぎの二日間をマニア E A P I (東アジア司教研修所)で過しタイ、スリランカ、インドネシアのグループと合流した。一晩はカルジナル・シンの夕食会に招待された。

一同大型バスで後半プログラムの地、バギオ市の太神学校に移つた。丁度夏休み中である。バギオは千五百メートル標高で、夏の首都と呼ばれる。

此处では全体会ならびに分科会が一週

間繰返され、①エキスボージャーで話し合つた現情の共通的なパターン、②それら問題の根本的原因、③これら原因の相



インドの恵まれない人々

主よあなたは私達伊勢教会の一人一人に働きかけ、インドの恵まれない人々のために道具として使って下さった事を心から感謝致します。六月三日午前十一時、本当に信ずるに値するメッセージである。

この証しのために、神の民(信徒、司祭、司教)の理解、協力、一致など、専門家の講演をふくめ、祈りと兄弟愛のうちに取り扱われた。

最後にステートメントを探査し、「私たちは問題を搜索し、困難と挑戦し、連帯を組み、福音と人権を求めて、回復させ新しい人間性を目指してキリストに従つて行く決意を80年に向つて」新らにした。

しかし日本を出て、多くのアジアの司教は申すに及ばず、南太平洋、欧米の司教たちと二週間寝食を共にし、信仰を分かち合い、明日に向つて手をつないで前進することを確認出来たことは、大きな恵みの二週間であった。

「肉体的には疲労し、情緒的には衝撃を受け、精神的には少々混乱をきたすような体験であつたけれども」(或リポー

トより)



(伊勢教会)

ドの方にお送りする事が出来、今は少しでもお役につっている事と思います。

主よ本当に心からあなたに感謝致します。

芽

## 生え

(西)



## —京都教区五十年をふり返って

## 古屋義之

京都教区がここまで発展してきた一つの力として、外人宣教師の働きをあげることができるでしょう。それは、今までお話ししてきたメリノール会だけではありません。

例えば、京都北部における宣教は、レデンプトール会の尽力によるものです。この地域は私が教区長になつてからも大阪教区の一部でした。それは軍港があつたこともあり、メリノール会が司牧することができなかつたからです。それで、レデンプトール会が担当し、現在のように各地に教会をつくつてくださいました。ただ、明治時代からこの地で一粒の種を蒔かれたルラープ神父様（パリ・ミッショニン会）の働きが、礎となつたことも忘れてはなりません。

村全体が改宗した佐賀村には、こんな経緯があります。私が、高木国敬さんといいう小児科医に要理を教えていた時のことです。彼の出身地である報恩寺からまたま高橋という人が来ており、私の話を聞いて大いに感激していました。それで村へ帰つてから、その人がカトリックを大宣伝してくれたのです。私にもぜひ村へ来てごミサをしてほしいと頼まれ、出かけました。ところが、着いてみて驚きました。ところが、着いてみて驚



現在のように多くの教会ができるまでには、数多くの苦労があつたと思います。

昭和三十一年、マリスト会管区長マースティ神父様の招待でオーストラリアへ行きました。向こうでは、ずいぶん歓迎され、ペラペラとはいかない英語に身ぶり手ぶりを交えてお説教したことありました。またジブシーが占つてくれたこともありました。またジブシーが占つてくれたことはありました。こちらは半分も意味がわからなかったので、どんな恐ろしい

きました。小学校が会場だったのですが、その入口にアーチが設けられ、そこに書いてある文字が、なんと「迎神祭」だつたのです。誰が考えついたのか、ともかく返す言葉もありませんでした。

さて、奈良地区はマリスト会が受け持つてくださいました。最初は、教育事業をお願いするつもりですが、奈良全体の司牧をまかせました。この地区にも一つしか教会がなかつたのですから、

の夏の巡礼の時も持つていきました。そこで、飛行機で帰途につきました。ところが、エンジンの故障で一時間もせぬ内に引き返すことになりました。もうその日は飛び立てないということで、ホテルを手配してくれました。しかし、窓から眺めると、私が宿舎にしていた教会が目の前にあります。私はそれならもう一晩教会に泊めてもらおうとそこへ戻りました。

た。カギのありかもわかつていましたから、勝手に入つて寝たわけです。ところが夜になつて足音が聞え、誰かその部屋に入つてきます。見ると、マースティ神父様なのですが、私への接待疲れをどうかでいやしておられたのでしょうか。

うご兄弟の家まで帰るのが面倒で、その部屋でお休みになるつもりでいらしたのを。しかし、その部屋にいる筈のない私が、毛布から首だけ出して寝ているではありませんか。その時の驚きようは、

■温泉へつかり、好きな本を読み、うまに刺身で辛口の地酒をやり、何も考えず、くしゃみを二つ三つして、そして寝る。ああ、怠け者に戻りたい。

(I)

(A)

(B)

ことを云われていても平氣でした。オーストラリアに滞在している間、私はセント・パトリック教区の教会の一室を貸していました。この部屋には怪談じみた忘れられない思い出があります。私があちこち案内してくれたのはマースティ神父様ですが、彼はこの教会から少し離れたご兄弟の家で寝泊りしていました。

それで向こうでの滞在を終え、帰る日の話です。私は信者たちからもらつたP・Y・Fとイニシャルの入つた革のトランクなどの土産物（このトランクはこの夏の巡礼の時も持つていきました）を持ち、飛行機で帰途につきました。ところが、エンジンの故障で一時間もせぬ内に引き返すことになりました。もうその日は飛び立てないということで、ホテルを手配してくれました。しかし、窓から眺めると、私が宿舎にしていた教会が目の前にあります。私はそれならもう一晩教会に泊めてもらおうとそこへ戻りました。

■母親の小学生に対する小言や命令は、平均して四分に一度の割合でふるそうですね。

(K)

■天も物価も負けず劣らず高い秋。馬ばかり肥やすことに自分の内にあるものも豊かにしたいと思つております。ハイ、イエズス様。いや外の方はしつかり大きくなっていますのでご容赦を。身を軽くして嵯峨野辺りを散歩したいです(Y)

■もうそろ／＼秋の気配が見えて来た。秋のすがすがしさを愛でる人と、物淋しさを憶える人、物のあわれを感じる人、などなく氣をとる、あわれ人の心よ(M)

■向いにすわったおばあさんの顔に深く刻まれたしわ。昔々の衷心のこと、楽しことの軌跡。イエズスのしわは、微笑と苦惱のもの。どちらもやさしさのあらわだなアと思い巡らせてると、電車は梅田駅に着いた。

■温泉へつかり、好きな本を読み、うまに刺身で辛口の地酒をやり、何も考えず、くしゃみを二つ三つして、そして寝る。ああ、怠け者に戻りたい。

(A)

(B)

(C)